

平成 21 年 1 月

各位

拝啓

厳寒の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、**第 16 回生殖・発生毒性学東京セミナー**を別紙の要綱で開催する運びとなりました。

本セミナーは、下記 11 名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。今回は、旭化成ファーマ(株)の中島幹夫委員と(株)三菱化学安全科学研究所の松浦郁夫委員が担当しています。

第 16 回セミナーは下記の 3 名の先生にご発表していただきます。

【演題】 卵巣毒性共同研究の成果とガイドラインの改訂

三分一所 厚司 先生 (第一三共株式会社 安全性研究所)

「国立衛研と製薬協が実施した卵巣毒性共同研究において、反復投与試験における卵巣の病理学的な変化と雌受胎能試験における生殖への影響についての結果とガイドライン改訂の経緯について説明する。」

【演題】 プロテオミクスによる化学物質の発生毒性研究

宇佐見 誠 先生 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

「ラット培養胚におけるセレンおよびインジウム等の発生毒性の解析データを中心に、プロテオミクスによる化学物質の発生毒性研究について紹介する。」

【演題】 ダイオキシンによる脳の発達異常～性行動、学習行動、情動行動

掛山 正心 先生 (東京大学大学院 医学系研究科 疾患生命工学センター)

「当初“環境ホルモン”として脳を雌化するとされてきたダイオキシンは、性行動だけでなく学習・情動行動の異常を引き起こすことがわかってきた。行動毒性試験を中心にダイオキシンの発達神経毒性を概説する。」

セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

なお、今回は第 14 回精子形成・精巣毒性研究会(Testis Workshop)が連動して、前日 3 月 6 日(金)に東京理科大神楽坂キャンパスで開催されます。TW 研究会の開催の案内を別添いたします。

参加申込みは東京セミナーと別ですのお間違いないようお願いいたします。

敬具

<セミナー実行委員>

中島 幹夫	旭化成ファーマ(株) 安全性・動態研究部
松浦 郁夫	(株)三菱化学安全科学研究所
吉田 順一	味の素(株) 医薬カンパニー
太田 亮	(財)食品薬品安全センター 秦野研究所
大山 直樹	田辺三菱製薬(株) 安全性研究所
下村 和裕	第一三共(株) 安全性研究所
原 洋明	(株)イナリサーチ
高井 了	中外製薬(株) 安全性研究部
鷹野 正生	(株)ボゾリサーチセンター
堤 俊輔	大正製薬(株) 医薬研究所
北條 仁	(財)残留農薬研究所

第 16 回 生殖・発生毒性学東京セミナー

日時： 2009年3月7日(土) 13:30~17:00
会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」
センター棟3階、309室
懇親会：カルチャー棟「レストラン とき」
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3467-7201 <http://nyc.niye.go.jp>
小田急線 参宮橋駅 7分
地下鉄千代田線 代々木公園(代々木公園西門前出口) 10分
会費： セミナー：1,500円(当日)
懇親会：3,500円(当日)

(セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください。)
(先天異常学会の名誉・功労会員は会費無料です。)

プログラム

- 13:00~13:30 受け付け
13:30~13:35 開会のことば
座長：中島 幹夫 (旭化成ファーマ(株) 安全性・動態研究部)
1. 13:35~14:35 「卵巣毒性共同研究の成果とガイドラインの改訂」
三分一所 厚司 先生 (第一三共株式会社 安全性研究所)
2. 14:40~15:40 「プロテオミクスによる化学物質の発生毒性研究」
宇佐見 誠 先生 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)
- ~15:50 休憩
座長：松浦 郁夫 ((株)三菱化学安全科学研究所)
3. 15:50~16:50 「ダイオキシンによる脳の発達異常~性行動、学習行動、情動行動」
掛山 正心 先生 (東京大学大学院 医学系研究科 疾患生命工学センター)
- ~17:00 閉会のことば
- 17:10~18:40 懇親会
-

(事務局から) 職場内等で回覧、掲示をお願いします。参加希望者は、2月27日(金)までに事務局にお知らせください(セミナー、懇親会それぞれ明記して下さい)。その際、参加者全員の氏名・所属・連絡先(住所、TEL、FAX、e-mail)をご記入ください。申し込みはe-mail又はFAXをお願いします。なお、当日受付も行いますが、資料を配付できない場合もありますのでご了承願います。

事務局 日本バイオアッセイ研究センター

試験管理部 生殖発生試験室

奥田 裕計

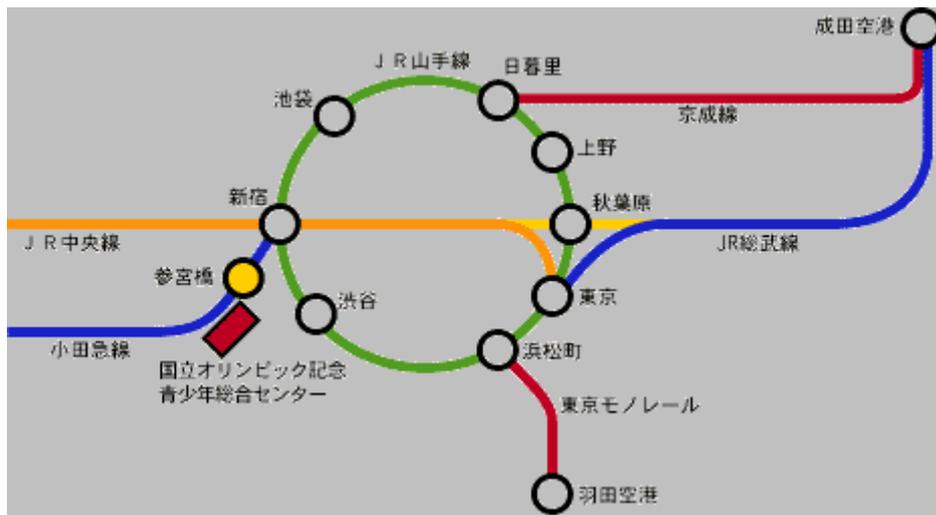
〒257-0015 神奈川県秦野市平沢 2445

TEL : 0463-82-3911

FAX : 0463-82-3860

e-mail : h-okuda@jisha.or.jp

セミナー会場へのアクセス



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

懇親会：カルチャー棟
2階「レストランとき」

セミナー会場：
センター棟 3階、309室



第 14 回精子形成・精巣毒性研究会

世話人：下村和裕（第一三共 安全性研究所）

日時： 2009 年 3 月 6 日 金曜日 10:15～17:00

場所： 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館 (<http://www.tus.ac.jp/info/setubi/morito.html>)
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 4-2-2
JR 総武線、地下鉄有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅下車徒歩 10 分

参加費：研究会 1,000 円（学生無料）、懇親会 3,000 円（どなたでも参加自由です）

内容：

開会挨拶

10:15～11:15 一般演題 (1) 座長：茶谷文雄（武田薬品）
成熟ラットにおける拘束ストレス負荷が精子運動能と下垂体、副腎及び
性腺ホルモン分泌に及ぼす影響 任 龍権（三菱安科研）
ミトコンドリア代謝能を利用した発色法によるジブロモクロロプロパンの
ラット精子への影響解析 大谷勝己（安衛研）
精巣特異的遺伝子発現解析に基づく精巣毒性評価（仮題） 高橋 光（東京理科大）
タクロリムスおよびシクロスポリンのラット精子
形成能に与える影響 久富晃彦（アステラス）

11:15～12:00 教育講演 座長：赤池雅司（GSK）
精巣毒性の機序解明研究の進め方 高橋道人（ピアビュー C）

<昼食>

13:00～14:30 シンポジウム「Headless (tailless) sperm」 座長：下村和裕（第一三共）
ヒトにおける headless sperm 外山芳郎、年森清隆（千葉大）
Diphenyl cresyl phosphate 投与による headless sperm 星野信人（三菱安科研）
ラットにおける尿中 headless sperm の検討 下村和裕（第一三共）
ラット精子の flow cytometry (FCM) による解析—FCM による尾部離脱精子検出—
山本敏誠（田辺三菱）

14:30～15:15 特別講演 (1) 座長：坂 芳樹（万有製薬）
新薬承認申請における精巣毒性の審査 小野寺博志（国立衛研）

<休憩>

15:30～16:15 一般演題 (2) 座長：峯島 浩（エーザイ）
マウスにおけるビスフェノール A の 2 世代生殖発生毒性 小林健一（安衛研）
ビスフェノール A 胎仔期曝露によるマウス精巣内遺伝子発現変動について
熊本隆之（奥羽大）
マウス精巣初期形成過程の立体再構築による解析 酒井康弘（北里大学）

16:15～17:00 特別講演 (2) 座長：押尾 茂（奥羽大）
男性側からみたヒト生殖医療の現状 大橋正和（荻窪病院）

閉会挨拶

懇親会： 研究会終了後、森戸記念館にて 2 時間程度の懇親会を予定しています。

参加申し込み： 参加希望者は、2 月 28 日までに世話人 (shimomura.kazuhiro.aj@daiichisankyo.co.jp) に e-mail にて、研究会・懇親会それぞれの参加、氏名、所属をお知らせ下さるよう、お願い致します。